

出席者 市教委(教) 宮島年夫教育長 鈴木達見指導主事 土井浩久指導主事
 知教労(組) 佐田京美 岩澤弘之 市野 司

1 多忙化解消のための具体的プランについて

組 大府市は他の市町に先駆け6・7月の朝部をなくし画期的だ。他の具体的方策は。

教 今の段階で具体的にはないが、1学期に立ち上げた「大府子ども教職員を元気にするプロジェクト」(以下:元気P)で多忙化解消について話し合いを進めている。

教 「元気P」は、現場と行政担当者も参加している。1学期に一期を終えその答申を経て、現在は二期に入っている。一期では予算のかかることを話し合った。今は、業務の削減、システム、制度の改革を論議しており、教育委員会の諮問と言う形で答申を十分に参考にしている。

組 プロジェクトの中で具体的な話は何か。

教・プール清掃の業者委託

- ・高性能印刷機の導入

- ・インターホンの早期改修

- ・国が進めているような、先生がいなくても責任が取れる部活動指導員の導入

- ・ALT、支援員、養護教諭補助員の増員

一気にやるのは難しいが、かなり前向きに検討している。

組 組合の挙げた20個の業務削減策の中でほかに話に上がったものはあるか。

教・小学校の通知表行動所見は3学期のみになっている。中学校もほとんどそうしている。

- ・留守番電話はいい考えだと受け止めてはいるが、来年度は見送りになった。インターホンの改修を優先させる。

組 留守番電話は来年度は無理だが、再来年度は期待してよいととらえる。

教・作品応募に関する教員の負担減についてもプロジェクトの中では話題に上がっている。

組 第二期の答申はいつ出るか。

教 2学期末に出て、3学期の頭に示せるはず。

組 今年度中には市としてのプランが出ると承知した。

教 校長会の意見とプロジェクトの意見が合致すれば、順次実行を目指していく。

組 一般教員が意見を言える場はあるか。

教 ない。出席する人に意見を伝えてもらうことはできる。

組 組合の意見は伝えられるか。

教 ここで聞いたので伝えておく。

2 部活動について

組 部活について。学校教育から社会体育への移行の計画は、どのように考えるか。

教 現状では難しいと考えている。大府市の6・7月朝部中止についても保護者から苦情もある。保護者の意見と教員の立場とでバランス良くやっていきたい。

組 県プランでは「意識改革」が挙げられている。やってほしい保護者や、指導をやりたい人の意識を変えなければならない。ブラックな働き方は、絶対に変えなければいけなくて誰かが壁にならないと進まない。意見の対立を引き受けて、市教委ががんばってほしい。大府市は朝部の件で最初に取り組んだので、周りの市町を巻き込んで行ってほしい。また、教職員への労安研修もしてほしい。

教 そういうことも研究課題として考えている。

教 朝部の件は4中の校長と十分話し合っ、決めたことで、これからも説明と納得で話を進めていきたいと思っている。

組 朝部をやめて、超勤が減った検証はしたか。

教 6月はあまり減っていない。7月は少し減った感じはある。

教 多忙化解消だけで朝部をやめたわけではない。子どもの健康を考えて行なった。汗だけで授業に臨むのは良いのか。郡大会前で現場から反発もあった。しかし、健康と学習と部活のバランスを考えて決断した。

組 朝部が無くなった時間を学習タイムに充てた学校があると噂に聞いたが。もし、本当であるならば、その時間は労働時間ではないと指導していただきたい。

組 中学校の土日の部活は半日(4時間程度)という合意を守っているという確認はできているか。

教 保護者あての文書や顧問者会の資料に載せ、確認はできているはず。

組 夏休みも、やっても4時間程度の半日ととらえてよいか。

教 紙面には書いてないがそういう認識でいる。

組 休日朝早くから、長くやっているなどと思う部活がある。時間の制限は、崩れていくことが多々あるので、しっかり監督してほしい。

教 了承した。取り決めの線はあるので、校長会を通して確認していく。

組 顧問をするかしないかの選択肢はあるか。

教 部活自体は教育活動の中で大切なものという考えの中で、職員に「お願い」して引き受けていただいている。

組 指導要領には自主的自発的活動と書いてある。全員にやらせる必要はない。部活顧問をやらせると必ず時間外勤務が発生する。やるかど

うかの選択肢を設けてはどうか。やってください」と言われれば、断りにくい。むしろ、「やれない」と断られた部活から、外部指導員を探し、徐々に部活の形態を変えていくという方法もあるのでは。顧問は強制できないものだ。考えてほしい。

教 意見として聞いておく。

組 生徒の部活自由参加についてはどうか。強制的であることで、やりたいことが阻害されることもある。

教 生徒に何らかの運動的・文化的活動に触れさせておきたいという保護者や先生たちの思いもある。中学校長と意見交換してみる。

組 小学校部活は学習指導要領にないが、どう考えているか？

教 負担は減らしたいが、全く無くすことは考えていない。

組 全国的には小学校で部活があるところのほうが少ない。いくら素晴らしいことでも教育課程にはない。いつの間にか教育課程ではないところに予算がついている。多忙化解消プランが出たのを契機に、小学校部活をどうするのかと、話し合いを始めるチャンスだ。

何か減らすとなれば、例えば陸上大会は、校内行事だけで済まないのか、とか考えていくことができる。

小学校は英語、道徳教科化など増えてばかり、何かを減らさなければならない。

教 どの部分が減らせられるのかは「元気P」でも話されているので、納得し合える提案が生まれるとよいと思う。

3 業務縮小について

組 校務主任の仕事は学校の先生がやることではないことが大変多い。校務員を雇い、校務主任は教諭なのだからもっと授業をすべきだ。

教 校務主任の中では、話題に上がっていない。

組 自分からは言い出しにくいのでは。話題に挙げてほしい。

教 はい。

組 プール開放では、監視員を市の方でやってもらえないか？

教 一般開放をしている小学校では、監視をPTA活動としてやっているのだから、保護者がやってくださり、教職員が監視をすることはない。

組 小学校の野外活動は1泊2日にならないか。

教 検討を必要とする課題である。

組 夏休みの完全閉庁期間は考えているか？

教 校長会で話題には上がっているが、来年度は見送る予定。留守番電話と連動した課題だ。

教 管理職には学校施設管理の責任がある。校長・教頭は来校して確認しなければならない。多忙化解消になるのかは疑問だ。

組 「学校も閉まるんだ」というイメージも大切。

組 職場体験はやめられないのか？

教 夏休みにやる学校が3校、2月にやる学校が1校ある。負担はあると思うが、子どもたちにとっては大切な部分もあるので、今のところはやっていこうと考えている。

組 大事であると考えたら、授業日としてやるべき。夏休みにやっている学校は子どもの代休を設けてほしい。受け入れ業者側も、商売だから頼まれたら断りにくいという話も聞いた。メリットばかりではなくデメリットにも目を向けて検討してほしい。

教 現場の声に耳を傾けていきたい。

4 労働環境整備について

組 労働時間の適正な管理 タイムカード、ICカードは考えていないか？

教 話題にはなっている。

組 在校時間記録をいい加減に書く人もいる。正確で、手早く客観的な記録方法が必要だ。

教 すでに導入した他地区の様子も見ながら、校長会の意見も聞いていきたい。

組 出退校記録で、校長が出していない学校がある。また、8:30 引いている学校と 7:45 引いている学校とがある。夏休み等、休憩が取れる時もあるので、8:30 を引く日と 7:45 を引く日と、両方が集計できるようにしてほしい。

教 県プランにあるようにと捉えて在校時間から 8:30 分を引いている

組 県プラン通りに、たとえ、8:30 を引いたとしても、そのうちの 45 分間は手待ち時間として、学校にいるのだから、プラス 45 分、すなわち全体から 7:45 を引くのがが正確な労働時間の把握である。原則、休憩は一斉に与えられるものである以上、その日に休憩した・しなかったといった感覚でつけるものではない。

組 修学旅行と林間も割振りで、バスや電車の中で休憩になっている学校がかなりある。

教 確認し是正する。

5 その他

組 学力状況調査の公表・事前対策はしないか。

教 毛頭そのような気はない。

組 エアコンはつけられないか。

教 近々そういう話になっていく。もはやエアコンは否定できない時代である。

(以上)